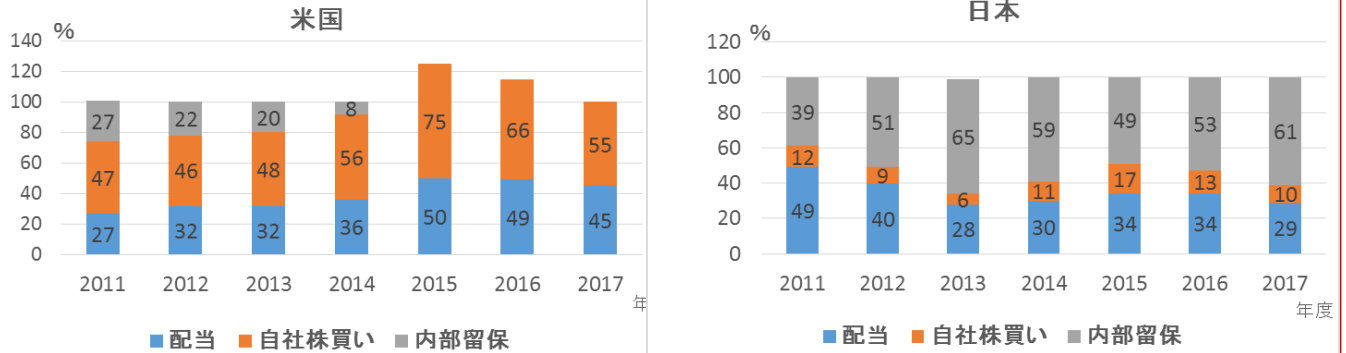


## ATTENTION

### 米国株式市場は巨額の自社株買いが底上げする



出典：野村証券

米国市場は10月10日特に理由なくニューヨークダウが830ドル下がり、その後も大きな変動が続いていますが、ここで注目されるのが、トランプ減税による利益積み増し、長い間海外に滞留していた巨額資金の国内還流が本格化することです。これらの資金は、自社株買いや配当の増配に充てられることが期待できます。2018年上半期の米国企業の自社株買いは3800億ドル、下半期は株価下落により、さらに増加することが見込まれます。1年を通しては、2007年に記録した過去最高の5900億ドルを大幅に上回ること間違いありません。米国企業の取締役会は、すでに2018年分として1兆ドルの自社株買いを承認しているとのこと。米国企業の業績は堅調で、現時点での下落は、これまで上昇してきた分のスピード調整と言えるでしょう。いわば、さらに上がるために一度伏せるというところ。上の表に見るように、米国企業はこの3年、利益と同じかそれを上回る株主還元を行なっています。この姿勢が示すことは、株主に還すために事業を行っているといってもいいものです。一方、コーポレート・ガバナンス、株主還元強化の必要性が叫ばれる中、日本企業の株主還元は過去3年後退していて、まさに掛け声倒れ。ここにも、日本の株式市場が力強さに欠ける原因が浮かび上がります。

## OPINION

### 日本企業は、ある会社の企業理念を見習うべき

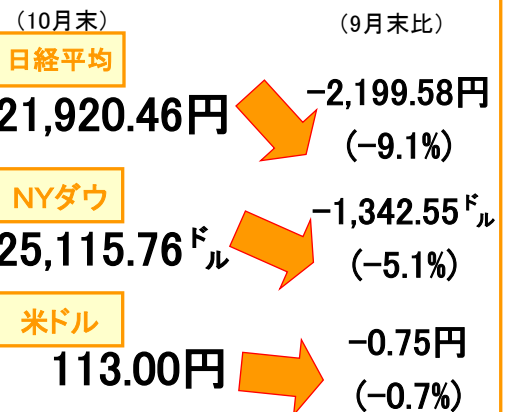
日本企業で頻発する不正事件を見ているにつけ、思い浮かべるのは米国ジョンソン・エンド・ジョンソンが掲げる崇高な企業理念と高い職業倫理観です。「我が信条」として有名ですが、それが存分に生かされた事例を紹介しましょう。

1982年9月、米国で35%のシェアの鎮痛薬タイレノールに青酸カリが混入され、7名の死者が出た時のジョンソン・エンド・ジョンソンの対応は、企業の危機管理の好事例として今でも語り継がれています。事件の数日後に3100万本の全面回収を決定、消費者に125000回のコマーシャルによる注意喚起、3重シールパッケージを開発して発売。この徹底した対応策により、事件直後8%まで下がったシェアは、12月には事件前の売上の80%を回復しました。この事件のとき「我が信条」の真価が発揮され、経営陣、現場の社員の誰もがそこに込められた哲学に従って数え切れない意思決定をしたとのこと。そこには顧客への責任、社員への責任、社会への責任、そして株主への責任が掲げられています。

2000年代には2回「世界でもっとも尊敬すべき企業」に選ばれ、この30年で株価80倍、55年連続増配している持続力の源泉は「我が信条」にあると見ることができます。日本企業はぜひ、一外国企業の理念や倫理規定など真似できないといわずに、その精神を見習ってほしいものです。

我が信条：<https://www.jnj.co.jp/group/credo/index.html>

## MARKET



### 今月の言葉：

私は、会社のために行なった仕事でいくらお金を失っても許す。しかし、新聞一面の見出しで家族を悲しませるような不祥事を起こした場合は、容赦はしない。

ーウォーレン・バフェット

## なぜ日本人は資産運用でうまくいかないか

一般の日本人が、資産運用でまともに資産を増やしたという話は聞きません。増えない、減らしたという寂しい話を聞くばかりです。減らなければいいという感覚の人も多いです。やり方によって豊かな安心した人生を送れるのに、これでは人間として非常に不幸です。そこで、どうして日本人は資産運用でうまくいかないか、じっくりと探ってみましょう。

## 1. 投資とはうまく儲けるものと思っている

日本人の特徴として、投資とはうまくやって儲けるものという感覚があります。うまく儲けた人は自慢気に話します。また儲けることは不労所得というイメージがあります。これは誤った捉え方です。なぜなら投資したお金は企業で一生懸命働くのです。「うまく儲けた」「不労」と見るのはカジノ感覚です。

## 2. 銀行や証券会社があくど過ぎる

企業のモラルも低いですが、銀行や証券会社は確信犯のあくどさです。「顧客本位の業務運営」を期待していると、はしごを外されます。銀行や証券会社は手数料稼ぎしか考えていないと見ておくのが妥当です。豪ドル保険、仕組み預金・債券、人気テーマ投信、毎月分配、個人向け国債のキャンペーン・キックバック、すべて釣るための道具立てです。

## 3. 株は上がらずゼロ金利

企業不正事件が頻発し、日本株は安心して投資ができない。株主還元意識は低く、自社株買いははずめの涙。少し業績が悪くなるとすぐ減配。日本株市場に力強さは感じられず、上がるかと思えばすぐ腰砕け。ゼロ金利は長く続き、いま個人向け国債を100万円買っても、1年で398円(税引き後)しか利息がもらえません。

## 4. お金にまつわる知識や運用能力が低い

一般個人のお金を運用するレベルは非常に低いのが実態です。巷に溢れる情報は、いかにうまく儲けるか、特殊な技があれば成功するというような情報や目先を追う情報ばかりです。企業の体質を見極めたり、長期で見たりする視点が広まりません。まさに「悪貨が良貨を駆逐する」状態です。こういう状態ですから、どう正しい資産運用を学んだらいいか、わからないというのが実態でしょう。

## 5. 外国のいい投資機会を見逃している

1988年から30年、日本株は5割高ですが、世界株は9.6倍、米国株に至っては15.6倍。日本人は株といえば日本株で、外国株への投資に踏み込めないまま、大変な投資機会を逃しているのです。外国に投資してもブラジル、トルコなどリスクの高い新興国債券や毎月分配型投信、見てくれはいいがリスクが高い仕組み債など、金融機関にだまされて投資しているものがほとんどです。

## 6. 安心して聞けるアドバイザーがない

IFA(Independent Financial Advisor)が公正中立・独立系を標榜して盛んに宣伝していますが、証券会社に属している存在です。なぜなら、金融庁のIFA登録簿に「所属証券会社」と書いてあります。真に一般個人に求められるのは、私どものような金融商品の手数料キックバックによらずに、お客様からいただく投資助言料だけで助言サービスを行っているアドバイザーです。このような顧客利益を最優先する存在がもっとも多くなっていくことが、日本人の資産運用がうまくいく唯一の方法です。

## SEMINAR

## びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える 『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！

日時：2018年11月23日(金、勤労感謝の日)15:00~17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「11月23日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。

メール：info@bfsc.jp Tel：03-6721-8386



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072  
電子メール：info@bfsc.jp